「ラジオ」の「存在」

小林かおり

子供の頃からラジオ好きで育ちました。耳からの情報で想像力を膨らましワクワクドキドキしたものです。「ラジオ」とはそんな楽しめる「存在」だと思っていました。それを一遍した出来事が１９９５年に阪神淡路大震災です。震災直後、私達が住んでいる宝塚の街も５００メートル先がどうなっているのか、隣町がどうなっているのかもわからなくて不安しかありませんでした。情報源がない恐怖は今でもふと思い出します。

震災後、コミュニティエフエム局が各地に広がりました。エフエム宝塚もその一つです。次に起こる震災や災害では、地域密着のコミュニティエフエムでしかできない力で、当時感じた恐怖や不安が半減できたら良いなと思っています。

現在エフエム宝塚で私が担当している番組

は、動物好きから始まった番組です。

始まった当初は、まだまだペットブームが起こる前でしたが、捨てられる犬猫の頭数も今より多くて、それを少しでも減らしたいとの思いから番組がスタートしました。捨てられる多くの犬猫は、彼らが悪いのでは無く、悪いのは人間。飼い主の問題です。動物も飼い主も共に幸せに暮らせるためのヒントやアドバイスができたらと思っています。

地震や災害が起こった時もできるだけ情報を集めてお伝えしたいと思っています。

昔感じた「ラジオ」の「存在」。災害時だけではなく、耳からだけの情報でどこまで感じて貰えるのか、そして犬猫の行動学の研究は日々更新されているので最新の情報をお伝えできるよう日々勉強を続けていきたいと思っています。

20 × 20